

こんにちは。フィンドレー大学へ留学中の渡辺です。春学期が始まり早2ヶ月が経ち、この留学の終わりが見えて来る時期に差し掛かってきました。2月に入ってからフィンドレーは、春の訪れを感じるくらいの晴天に恵まれた時もあるれば、日中でも氷点下という時も頻繁にあり、寒暖差の激しい1ヶ月でした。日々の生活においては、いつもにもまして忙しい状況が続き、本報告書を書くにあたり、どの活動を取り上げようか悩みました。（嬉しい悩みです！）今回の報告書では、ボーイスカウトでのプレゼンテーションと **Funday Sunday** での活動に加えて、今期受講している講義の2つを紹介していきたいと思います。

● 授業について

✓ Survey of Jazz：週3回・計3時間・現地学生と

この授業ではアメリカ発祥の音楽の1つであるジャズを歴史的観点から紐解き、多様性豊かなジャズ音楽についての知見を深めていきます。ジャズに興味があるけれど音楽経験がほとんどない私でも受講することが出来ます。授業は教授の講義に加え、多くのジャズ音楽を聴きながら進められます。なんとなく興味を持っていたジャズについて専門的な知識から、黒人奴隷制から生まれた音楽という歴史的背景、地域によって特色あるジャズ文化が栄えていき、現代のロックやカントリーのルーツになった事実といった多くの視点からジャズを分析しており、授業のたびに新しい発見があります。また、フィンドレー大学では音楽活動が盛んで、先日ジャズコンサートに行ってきました。授業で学んだ内容を踏まえながらのジャズ鑑賞は今までとは一味違うものに感じ、生演奏に酔いしれました。授業を通してさらにジャズ音楽の奥深い魅力を感じるようになりました。

✓ Film Photography：週2回・計3時間40分・現地学生と

カメラに興味がある私はフィルムカメラの講義が取れると分かった否や受講を決めました。フィルムカメラは持っていなかったのですが、大学から借りることができたり、フィルムやプリントアウトペーパーなどの支給があったりするので、大学サポートの手厚さを感じます。1回の授業は1時間50分と比較的長めなのですが、あっという間に感じるほど盛り沢山の内容です。教授の解説を聞きながらフィルム関連の動画を見たり、暗室でのネガフィルムの現像、写真のプリントアウトしたりしています。今期まで自分の手でフィルム現像をすることは想像したことがありませんでしたが、今では全ての行程を自分1人で出来るようになりました。また、実践系の授業なのでクラスメイトと話す機会も他の講義に比べれば多く、本当に楽しみながら学んでいます。旅行に行く際にカメラで写真を撮る楽しみが増えました。

- 課外活動

- ✓ Funday Sunday

今月の Funday Sunday は、Findlay African Student Association (FASA) と呼ばれるアフリカ諸国についての理解を深める大学の学生団体と共に行いました。この団体は黒人の学生のみを対象にしたものではなく、全ての学生に開かれているものです。月 2,3 回のミーティングでは現地学生と共にアフリカ諸国について話し合ったり、クイズをしたりと和気あいあいとした時間を過ごすことができます。今月のテーマは”Wild Safari” で探検隊さながらの帽子を被りながら参加しました。内装もサファリをイメージさせるものでした。FASA のブースではバンダラにアフリカ伝統の柄が入っている生地を巻き付け、オリジナルのブレスレットを来てくれた子どもたちと一緒に作りました。布を巻きつける作業のサポートをしながら、子どもたちと話すのはとても楽しかったです。ブレスレットが完成した後、そのブレスレットを見ながら子どもたちやその家族から “Thank you!” が嬉しかったです。



- ✓ ボーイスカウトでのプレゼンテーション

日本ではあまり知名度がないものの 1 つかもしれませんが、アメリカではボーイスカウトの活動が盛んです。ボーイスカウトの子どもたちは地域の活動に参加したり、講義に参加したりしてその都度バッジを手に入れることができます。ボーイスカウトには階級があり、彼らはバッジを集めながら上の階級を目指しています。

今回のプレゼンテーションは彼らの活動の 1 つで、異文化理解のバッジがベースになっています。日本のプレゼンテーションの他にジャマイカ出身の学生のものもありました。それまでも日本についてのプレゼンテーションをさせていただく機会は何度かあったのですが、今回は一味違う内容のものをつくらせていただきました。内容としましては、地形・政治体制・天皇制・気候・自然資源・宗教などについてまとめました。普段よりも日本について深く掘り下げた内容を取り上げたので、制作中ぼんやりとしか認識していなかった日本の自然資源の現状を知ったり、天皇制や地形といった日本固有のトピックをあまり親しみがない生徒にどのように英語で説明したらよいのかと考えたり、自分に慣れ親しんだ内容なのですが逆に考えさせられました。プレゼンテーション後には質疑応答の時間が設けられたのですが、日本について積極的に質問をしている姿が見られました。プレゼンテーションの他にもよきこいや、紙芝居なども行いました。彼らの異文化に対する興味が少しでも大きくなればと思います。



- その他の活動

先月の報告書でも述べたように春学期からエクアドルの学生が中期間の留学プログラムでフィンドレー大学に来ています。彼らの家でお互いの国の料理を持ち合わせる Potluck をやりました。私は日本の料理としてカレーを作りました。とてもフレンドリーな学生たちで彼らのエクアドルの話はとても興味深いです。また先日、Circle of Friends というフィンドレー

のダウンタウンにある多国籍レストランにエクアドルの学生と Film Photography の教授、それを受講している学生と行きました。多国籍な料理に学生と共に濃い時間を過ごさせていただきました。



までご連絡よろしくお願ひ致します。

最後まで読んでくださってありがとうございます。2月の報告書は以上になります。何かご質問等ありましたら国際課の方

